

令和元年度（2019年度）産山学園便り

夢創造

八年生が栽培している菊が学園を彩っています。



令和元年10月21日（水）no.20 文責：上田

2学期スタート 学級目標を再確認

秋休み明けの15日（火）、学園に子どもたちの元気な声が戻ってきました。

始業式では、台風19号、ラグビーワールドカップなど、その日の新聞記事のいくつかを紹介しました。自然災害に悲痛な思いをされている方、ラグビーワールドカップに興奮している方もいます。当事者ではなくても心を寄せる人たちが大勢います。複雑ですが、いろいろな思いがあります。何らかの関わり合いの中で私たちは生きていることを、時には子どもたちには知らせたいと思います。14日で熊本地震から3年半。当時、多くの方たちが心を寄せてくれたことも忘れてはならないと思います。

さて、2学期がスタートしました。あらためて各学級で学級目標について話し合いが行われました。1学期の子どもたちの成長を振り返り、さらなる成長に向けて先生方も気を入れているようです。一人一人の子どもたちが学級目標をより確かなものとして達成できるよう関わり合いを深めてもらいたいと思います。

中体連駅伝競走大会 男女敢闘賞

18日（金）、阿蘇市「あぴか」で行われた中体連駅伝競走で、男女とも敢闘賞を獲得しました。阿蘇管内10中学校が参加、男子は50回、女子が37回を数える伝統ある大会で、保護者の方も参加されたことだと思います。学校規模も異なり代表になる生徒は陸上部、陸上部以外の生徒もいますが、一本の襷をつなぐ思いには特別なものがあるように思います。敢闘賞の対象となる学校は生徒数が少人数の学校ではありますが、大会の歴史にその走りを刻んできました。男子は4年連続、女子は久々の敢闘賞です。練習の成果を十分に発揮できました。



26日（土）に予定されている校内持久走大会でも、一人一人の学園生が目標とするタイムをめざして頑張ってくれるものと期待しています。

体調管理に注意を

ここ数日の寒暖差で体調を崩している子がいます。感染症にも注意が必要です。